

毎日の食事による放射能摂取の例

食物の種類	平均摂取量 g		基準値	試算例	放射能 摂取 Bq
	男性	女性	bq/kg	(女性)	
穀類	300	210	100	市場に出回る食品を基準値の平均10%と仮定して試算⇒	2.10
イモ類	100	100	100		1.00
豆類	80	80	100		0.80
魚や肉	140	100	100		1.00
野菜	350	350	100		3.50
牛乳や乳製品	300	250	50		1.25
卵	50	50	100		0.50
果物	200	200	100		2.00
水	2000	2000	10		2.00
毎日の放射能摂取量					14.15

体内蓄積と内部被曝線量

ICRP Publication 72		ECRR 2010 Recommendations		原子力安全委員会
9.60	mSv/年	48.01		9.60
1.10	μSv/h	5.48		1.10
26.30	μSv/日	131.52		26.30

基準内10%は安全なのか？

2,023 ベクレル (体内蓄積総量)

(利用した変換サイト) ベクレルとシーベルトの変換 http://snscs.cside2.com/step/calc_1/

注目3

注目4

10~30歳

注目2

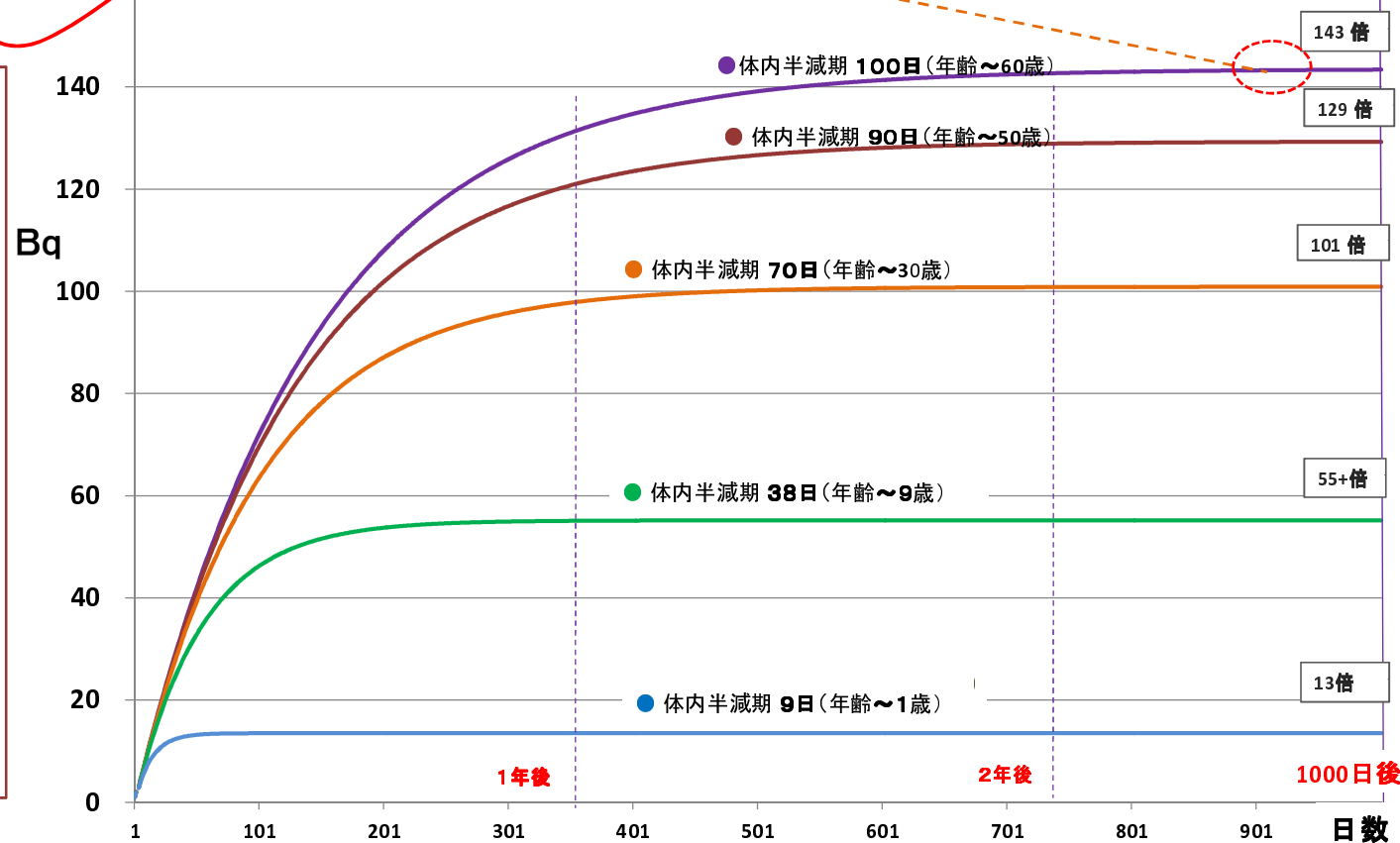
143 倍

放射能の体内蓄積の推移曲線

(毎日摂る食事に含まれる放射能が1ベクレルの場合の体内蓄積)

注目1

160



● いまや食品が放射能新規規制値以下なら「安全である」との風潮になっているが、不安は払拭できるのだろうか

- ・WHO勧告に準じていると説明されているが、アメリカ、ドイツ、ウクライナ、ベラルーシの基準は、内部被曝を強く意識した基準値を採用している。
- ・そこで、規制値の10%の食品で毎日食事を摂ったとしたら、放射能の体内蓄積はいくらになるだろうか？
- ・体内に取り込まれ放射能は代謝によって徐々に排泄されが、その生体内半減期(セシウム137の場合)は、~1歳:9日、~9歳:38日、~30歳:70日、~60歳:100日
- 右図の紫色曲線は半減期100日の体内蓄積量の推移曲線である。
- ・赤線は、毎日摂取する放射能は徐々に体内に蓄積し3年後には放射能の体内蓄積総量は1.415ベクレルとなり、そのすべてが全身に放射され、その線量は